

## 談話

2013年9月5日  
全国保険医団体連合会  
非核・平和部 部長 永瀬勉

### シリアへの軍事攻撃に断固反対する

内戦の続くシリアに対して、米国などが化学兵器使用を理由に、軍事攻撃を行う姿勢を見せている。オバマ大統領は8月31日午後、シリアへの軍事行動の決断を明言した上で、軍事行動の事前承認を米議会に求めることも明らかにした。

化学兵器の使用は、残虐かつ非人道的行為であり、決して許されるものではない。しかし、現在、既に出国した国連の調査団が事実を調査中であり、化学兵器使用の有無が明らかになっているとは言い難い。このような状況の下、国連安保理の決議もなく軍事介入をすることは、国連憲章と国際法に反するものである。

また、軍事攻撃は、一般市民を巻き添えにし、内戦で疲弊している彼らの生活を脅かし、さらに犠牲を増やすおそれがある。内戦の泥沼化を招き、軍事的衝突が他地域に飛び火し、中東地域での国際的な紛争へと拡大する危険もある。

私たちは、人命を守ることを使命とする医師として、国際法に反し、さらなる犠牲を拡大する軍事攻撃を容認することはできない。シリアへの軍事攻撃には断固反対し、シリア紛争の外交努力による平和的解決を求める。